

### 1. 総選挙で全議席確定、野党NLDが8割

11/20、8日投票のミャンマー総選挙で、選挙管理委員会は、上下両院で改選する全ての議席の結果を発表、アウン・サン・スー・チー氏率いる野党、国民民主連盟(NLD)が 491 議席中 390 議席を獲得した。軍系の与党、連邦団結発展党(USDP)は42 議席にとどまった。NLDは改選議席の約8割を獲得した格好で、全議席の4分の1を占める軍人枠を含めても、上下両院で過半数議席を制することになる。現議会の任期は来年1月末で切れ、新議会が招集される見通し。少数民族政党では、西部ラカイン州の少数民族ラカイン族のアラカン民族党(ANP)が 22 議席、北東部シャン州のシャン民族民主戦線(SNLD)が 15 議席を獲得した。他の少数民族政党や無所属が残る 22 議席を占めた。

### 2. 野党圧勝は国債格付けに有利、ムーディーズ

今月8日の総選挙での野党、国民民主連盟(NLD)の圧勝は、ミャンマー国債の格付けに有利に働きそうだ。米格付け大手ムーディーズ・インバスターズ・サービスのアナリストらが明らかにした。一方で、今後のNLDと軍との関係が大きなリスク要因になるとも指摘した。

### 3. 1ドル1300チャット到達、食料高騰・先行き不安も

11/23、チャットの対米ドル為替レートは、1米ドル=1,299 チャットまで下落。25 日には 1,300 チャットに到達した。年初来の下落幅は3割近くに達し、2012 年4月に管理変動相場制を導入して以来、最安値を更新し続けている。食品価格の急騰や通貨チャットの対米ドル為替レート下落を受け、最大都市ヤンゴンなど都市部で、経済の先行きを不安視する見方が強まっている。タマネギの価格は 22 日、ヤンゴン市ライン郡区のバインナウン卸売市場で1ピス(1.6 キログラム)当たり 2,650 チャット(約 246 円)を記録。1カ月前の 1,200 チャットから2倍以上に跳ね上がった。ジャガイモも23 日、同2,000 チャットと、10 月初旬の800 チャットから2.5 倍に高騰した。タマネギ価格上昇は、周辺国への輸出货量拡大による品薄が要因とされていたが、収穫期の今月に入っても下落の兆しを見せていない。7月に国内広域で発生した洪水の影響で、食糧買い占めの動きがまだ残っているとの見方もある。

### 4. ストのハンジェン工場、再雇用命令応じず

ヤンゴン北部のシュエピタ工業団地にあるハンジェン縫製工場が、賃金カットに抗議してストライキを行った労働者を解雇した件で、ヤンゴン管区労働局が解雇者の再雇用を命じたが、工場側は仲裁委員会に不服を申し立てた。ミャンマーでは9月に日額3,600 チャット(約 345 円)の法定最低賃金が導入されて以降、事実上の賃金カットによる労使の対立が続出。ハンジェン工場でも手当を削るなどして手取り額が最大3割減ったと抗議の声が上がり、9月下旬から 1,000 人ほどがストに参加。労働・雇用・社会保障省の仲介で大半は職場に戻ったが、工場側は5人の組合員の雇用継続を拒否している。仲裁委員会メンバーで、ヤンゴン管区労働局のルウィン・ルウィン・ミン副局長は、「ハンジェンは、当局の命令には従わないと明言している。解雇された労働組合リーダー、チョー・チョー・ミン氏も、当局の命令が不十分だとしている」と明かした。労組リーダーのチョー・チョー・ミン氏は、「命令に従わない経営者は法的処分を受けるべき。罰金 100 万チャットは低すぎ、雇用側は意に介さない」と指摘。「日額 3,600 チャットで(残業代などもカットされて)は食べていけない」と訴えている。

### 5. ダラ大橋の土地接収、補償で地主8人と交渉続く

ヤンゴンの市街地とヤンゴン川西岸のダラ郡区を結ぶ橋の建設をめぐる土地接収問題で、政府が提示した補償額に対し、地主8人が納得せず、より高い補償金を求めている。政府はすでに、地主 60 人と補償金額で合意したが、残る8人との交渉が続いている。補償金額は1区画(60×40 フィート=約 18 メートル×12 メートル)の地代1億 3,000 万チャット(約 1,240 万円)をベースに、補償金は区画当たり 8,500 万チャット(約 800 万円)と算出。完全移転が必要なのは2世帯だけで、残りは一部敷地の移動もしくは建設中の期間限定での移転になるという。韓国の支援で建設される橋「ミャンマー—韓国友好橋」は年内に着工し、2020 年完成の見込み。国内最長級の全長 2,243 メートル、高さ 48 メートル、幅 243 メートルの吊り橋となる予定で、開発が遅れているダラ郡区の実現に大きな効果をもたらすと期待される。現在はフェリーか木造の小型船で川を渡るしかない。テイン・セイン大統領は今月 14 日、韓国政府から返済期間 40 年で1億 3,800 万米ドル(約 170 億円)の低金利融資を受ける合意に署名する予定。残る 3,030 万米ドル(約 37 億円)をミャンマー政府が拠出する。ダラ郡区開発委員会は、韓国からの融資が実行され次第、補償金受け取りに合意した住民への支払いを行うとしている。

## 6. ダラ大橋建設と鉄道車両購入、韓国と融資契約

11/16、ミャンマーの建設省と鉄道運輸省は首都ネピドーで、韓国輸出入銀行の対外経済協力基金(EDCF)との間でそれぞれ、ヤンゴンでの「ミャンマー—韓国友好橋」の建設と鉄道車両 100 両の購入に向け、融資契約を締結した。友好橋は、ヤンゴンの市街地とヤンゴン川西岸のダラ郡区を結ぶもので、長さ 6,144 フィート(約 1,873 メートル)。年内に着工し、2020 年に完成する見込み。両政府間で 12 年に合意したもので、建設省がEDCFから1億 3,800 万米ドル(約 170 億円)の資金を借り入れる。ミャンマー側が残りの 3,030 万米ドルを拠出する。鉄道運輸省はEDCFから 4,500 万米ドルの資金を借り入れ、エアコン車両 20 両を含む計 100 両を購入する資金に充てる。

## 7. 翡翠価格が7 割減、中国の輸入規制強化で

翡翠(ひすい)産地のミャンマー北部カチン州の宝石市場では、最大の輸出先である中国の政府がミャンマー製の翡翠加工品の輸入規制を強化した影響で需要が激減し、価格が約7割も急落した。関係者によると、取引業者はミャンマー政府に対し、中国以外のバイヤーへの販売を許可するよう求めている。

## 8. 中国需要減退でモゴのルビー業者が苦境

中部マダレー管区のルビーの産地モゴでは、この一年ほど中国からの需要激減で取引が縮小、多くの鉱山労働者が北部カチン州タナイの石英鉱山に移動している。中国の金融引き締め動きが原因とみられるが、地元のルビー取引業者は、来年の中国の春節(旧正月)で売上げが回復することを期待し、時節到来を待っている。モゴの取引業者はこれまで、主に中国人バイヤーを相手に商売をしてきた。外国人に宝石を販売することは法律で禁止されているため、中国人業者は何年も前から、ミャンマー人の代理人を通してルビーを買い付けている。マダレーの翡翠(ひすい)・ルビー業者のタン・ナウン氏によると、中国の銀行はこれまでルビー業者だけでなく、翡翠やその他の宝石業者への貸し付けも拡大してきたが、景気減速による中国政府の金融引き締め政策で銀行の貸し付けを規制し始めたことが、モゴの宝石市場にも大きな打撃を与えたという。需要の減少でモゴのルビー生産量も昨年から減少している。ルビーの埋蔵量自体も減少、それに伴い高品質のルビーがなかなか産出されなくなった。モゴの住民の多くが、少数民族のリス族やカチン族で、ほとんどが宝石の研磨や販売など宝石産業に関わっている。ある業者は「中国人バイヤーはあまり値切らないのでありがたかったが、今はバイヤーさえ来ない。生活が少し厳しくなった」と話している。

## 9. 土石崩落で104 人死亡、北部カチンの翡翠鉱山

11/21未明、ミャンマー北部カチン州パカンで、翡翠(ひすい)鉱山付近に積み上げられた土石の山が崩れ、付近の小屋が埋まるなどして、少なくとも 104 人が死亡した。崩落の規模は大きく、さらに死者数が増える可能性がある。現場は、翡翠採掘の際に排出された土石が積まれている集積場。地元当局者によると、この土石から翡翠を探すため国内各地から集まった人々が小屋に寝泊まりしていた。数十の小屋が崩落に巻き込まれ、就寝中の人々が生き埋めになった。当局や軍が捜索活動が続いている。ミャンマーは世界有数の翡翠産出国で、主に中国へ輸出。鉱山が集中するカチン州パカン周辺では、正規の採掘業者のほか、出稼ぎの人々も作業している。土石の集積場では、たびたび崩落事故で犠牲者が出ている。カチン州では、国軍と少数民族武装勢力の対立が続き、翡翠をめぐる利権も入り組んでいる。当局の監視が十分に及ばないため、翡翠鉱山での事故防止は難しい状況だ。

## 10. 拘束中のイスラム教徒死亡、中国国境ムセで

ミャンマー北東部シャン州の中国国境の町ムセで、イスラム教徒の青年が地元警察による拘束中に死亡した。青年が警察官の息子とけんかして逮捕されたことから、家族らは警察による「殺人」だと主張している。仏教徒とイスラム教徒が平和的に共存してきたムセでも、全国的な反イスラム運動の影響を受け、以前より緊張が高まっているといわれ、警察は町中のモスク(イスラム教礼拝所)を閉鎖するなど警戒している。ムセのイスラム教徒は約 600 人で人口の約3%に過ぎないが、地元住民らによると、民族や宗教に関係なく住民たちが平和的に共存してきた。しかし、急進派仏教団体「国家と宗教保護のための委員会」(通称マバタ)による反イスラム運動の影響で、特に仏教徒のビルマ民族とイスラム教徒の緊張は少しずつ高まっているという。

## 11. マダレー不動産市場活況

マダレーで不動産市場が活発化している。これまで国際水準の物件の開発が遅れていたが、旺盛な需要に対応する形でコンドミニアムやホテル、商業施設への投資が活発化しており、向こう数年で近代型の新施設の供給が増える見通しだ。

## 12. 南部ダウエーで中国系が高層住宅5棟建設

中国系の建設会社デワン・インターナショナル・コンストラクションが、ミャンマー南部タニンダーリ管区のダウエーで19階建てのコンドミニアム(分譲マンション)「ゴールドコースト・コンド」を建設する。投資額は6,000万米ドル(約73億6,000万円)で、完成すればダウエーで最高層となる。ダウエー市のストランド通りとダウエー川に近い1.5エーカー(約6,070平方メートル)の用地に、19階建てのコンドミニアム5棟を建設する。スーパーマーケットやジムも入居する。工期は3年を見込む。実施中の地盤調査を終了後、当局に建設許可を申請する計画。

## 13. ジャンクシヨンスクエアで火事、死傷者なし

11/23夜、ヤンゴン中心部の大型商業施設「ジャンクシヨンスクエア」で、火事が発生し、数百人の客らが避難したが、死傷者は出なかった。火は約30分後に消止められた。ヤンゴン警察によると、2階に入居する地場の飲食チェーン「YKKO」の天井の電線が過熱し、出火したもよう。出火現場付近にいたヤンキン郡区の住民は、「大きな爆発音が聞こえた後、出火した。店員や客らは混乱して走りだし、自分も非常階段から避難した」と状況を説明した。

## 14. マグウェー管区で落花生の収穫半減

中部マグウェー管区の複数の郡区で、落花生の収穫量が例年に比べて半減し、農家が打撃を受けている。乾期に入っても雨が続き、ネズミが大量発生していることが要因という。地元住民の一人は、「豪雨の影響で落花生の花が落ちた。従来は見られなかったネズミも大量発生し、作物を食い荒らしている」と窮状を訴えた。別の住民は「ミンラ郡区やミンブー郡区では生産は減少したが、ヤナンジャウン郡区では生産が増えている」と指摘。ヤナンジャウン郡区では降雨量も例年並みで、収穫も良好だという。農家によると、落花生価格は昨年の1ビス(1.6キログラム)当たり3,000チャット(約280円)から今年は2,700チャットに下落。農家の資金繰りは悪化し、先行き不安が広がっている。

## 15. フラインタヤ工業団地、政府にインフラ支援訴え

ミャンマー政府の支援を受けていないヤンゴン近郊のフラインタヤ工業団地が、インフラ整備を入居企業が自前で行っている現状を訴え、「新政権に対し、工業団地がインフラ整備に向けた公的な支援を必要としていることを伝えたい」と、公的な支援を訴えている。工場の稼働に必要な電力供給、道路や下水設備などの整備は工業団地の所有者や進出企業が自力で実施しているのが現状。管区政府やヤンゴン市開発委員会(YCDC)からの支援はないという。フラインタヤ工業団地には、米コカ・コーラやたばこ大手ブリティッシュ・アメリカン・タバコなど世界的な大手企業が進出、工場数は700棟近く、労働者数は25万~30万人に達している。ヤンゴン管区内の工業団地は28カ所。公的支援の欠如に加え、投機目的での用地買い占めなどの問題も発生している。

## 16. 最近の外資の進出状況

### ・スーパーホテル、ヤンゴンで26日開業

ホテルチェーンを展開するスーパーホテル(大阪市西区)は26日、最大都市ヤンゴンに「スーパーホテル・ヤンゴン・カバエロード」を開業する。ヤンゴン国際空港と市中心部の中間のインヤ湖の東側、カバエポダ通り沿いに位置する。

### ・アクロクエスト、ミャンマー文字読取装置の開発支援

11/16、ソフトウェア開発会社のアクロクエストテクノロジー(横浜市)は、自動データサービスを展開する情報基盤開発(東京都文京区)に対し、ミャンマー文字調査の支援を行ったと発表した。ミャンマー語のOCR(光学式文字読み取り装置)ソフトウェアの開発を後押しする。

### ・シボレー、マンダレー販売店を来年開設

米ゼネラル・モーターズ(GM)のシボレー・ブランド車の総販売代理店パシフィックAAモーターは、来年にマンダレーにショールームを開設する。

### ・丸紅、建機レンタルで財閥ダゴンと合弁

11/25、丸紅は、ミャンマーの大手財閥ダゴン・インターナショナルとの間で、建設機械レンタルの合弁会社「DMCマシナリー」を来月、ヤンゴンに設立することで合意したと発表した。丸紅が40%、ダゴンが60%を出資。

### ・独系が宿泊予約サイト開設

ドイツのインターネット支援企業ロケット・インターネットは、ミャンマー人をターゲットにしたホテル検索・予約サイトを立ち上げる。

以上